

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/09/12号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



乱高下を繰り返す中、下値切り下げ

NY原油先物相場は、1バレル=86ドル台後半まで値下がりする展開になった。石油輸出国機構（OPEC）プラスは9月5日の閣僚会合で、10月の生産枠を日量10万バレル引き下げることと決定し、原油相場はその直後に高値90.39ドルまで急伸した。しかし、7日の取引で需要不安を背景に85ドルの節目を割り込む急落地合に転じ、翌8日に81.20ドルまで値下がりした。ただ、週末にかけては短期的な下げ過ぎ感や欧州地区のエネルギー供給不安を背景に急反発し、86ドル台後半まで切り返した。

OPECプラスは増産政策から減産政策への転換を決定した。世界石油需要の僅か0.1%程度の減産幅とあって、需給見通しに対する直接的な影響は大きくない。ただ、90ドル前後の価格水準でも減産対応に踏み切ったことは、ポジティブ材料視されている。声明文では、必要とあれば臨時会合を開催する方針も示されており、OPECプラスが積極的な需給管理に乗り出したとの見方が強い。ただ、原油相場に対する押し上げ効果は一時的なものに留まっている。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（9月2日時点）は、原油が前週比885万バレル増、ガソリンが33万バレル増、石油精製品が10万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

短期筋主導の乱高下が続く、欧州ではエネルギー危機が深刻化

需要不安と供給不安が交錯する中、短期筋主導の乱高下が続き易い。1週間で容易に10ドル程度の値幅を形成する可能性があり、需要不安で急落すると物色妙味がある一方、供給不安で急伸すると売り妙味があろう。乱高下しつつも、明確なトレンド形成は難しい状況が続く見通し。

中国では新型コロナウイルス対策のロックダウンが広がりを見せており、3億人が行動規制の対象になっているとの推計もある。更に大都市でロックダウンの開始が報告されると、需要不安の織り込みで80~85ドル水準での取引に回帰する可能性がある。また、13日にはOPEC、14日には国際エネルギー機関（IEA）がそれぞれ最新の月報を発表する予定になっている。ここで需要見通しの大幅引き下げといった動きがみられた際にも、下振れリスクが高まる。

一方、OPECプラスが減産決定後の原油安に強い警戒感を抱いていることは間違いなく、減産対応強化の可能性を示唆するような動きがみられると、下値が固まり易くなる。主要産油国の動向が動きを見せるかに注目したい。

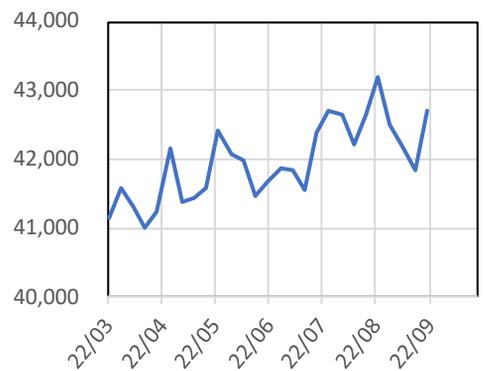
また、西側諸国と欧州との対立激化にも注目したい。欧州連合（EU）のエネルギー相理事会は、天然ガス価格の上限設定を呼び掛けた。ロシア産に限定することは避けたが、事実上はロシアからの天然ガス調達価格の引き下げを狙うものである。しかし、ロシアは上限価格が設定された場合には欧州向け天然ガス供給を止める可能性を警告しており、欧州地区のエネルギー需給を巡る混乱が深刻化すると、原油相場に対しても買いが膨らみ易くなる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



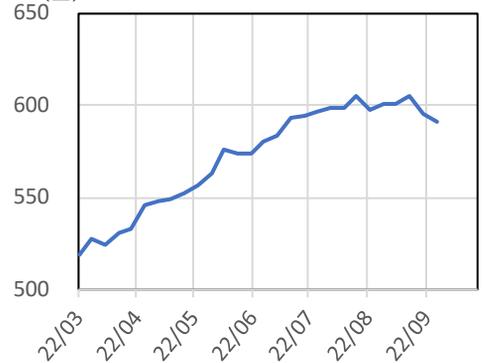
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

